

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 49週 > 急性出血性結膜炎 - 定点当たり報告数は少ないものの、過去5年間の同時期に比べるとかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< インフルエンザ >
定点当たり報告数はここ数週間で急な増加を認めている。



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス / 感染性胃腸炎



速報
P.6

今冬初発集団かぜからのA/H3N2型インフルエンザウイルスの分離 - 石川県



海外感染症情報
P.7-10

コンゴ民主共和国での急性呼吸器症候群 - 更新 / スコットランドでのEBL2感染患者発生について / 客船でのノロウイルスによる胃腸炎流行 - 米国2002年



感染症の話
P.11

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(49週)
P.13-19



49週のデータ
P.20-28



発生動向総覧

第49週コメント 12月12日集計分

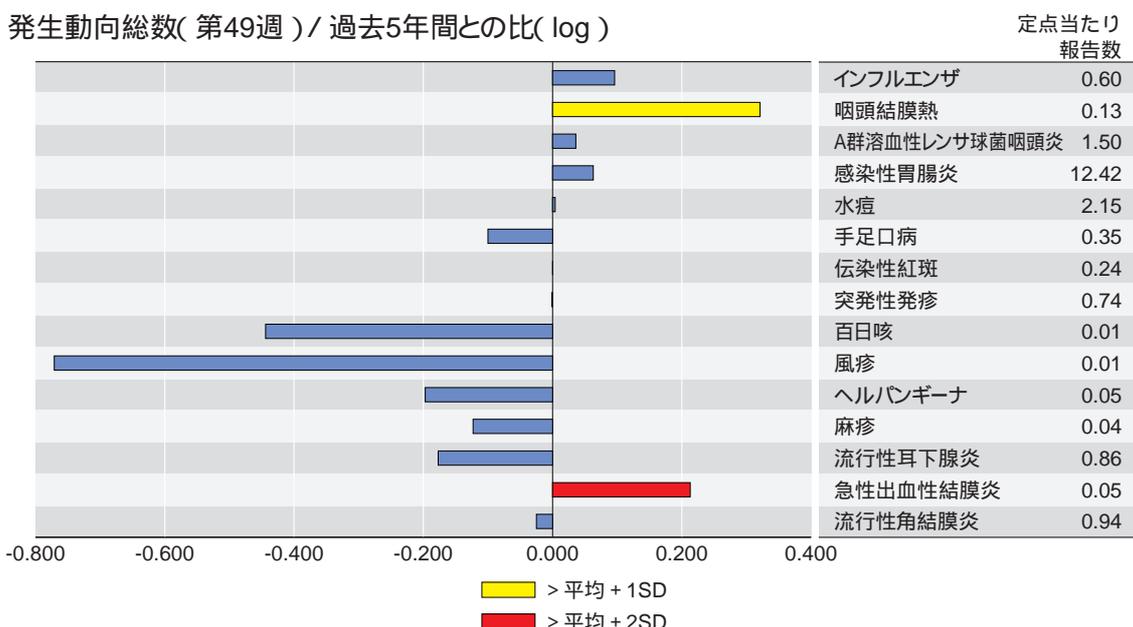
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢5例(推定感染地: 国内2例、フィリピン2例、インド1例) 腸チフス1例(推定感染地: インドネシア) パラチフス1例(推定感染地: 国内)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症16例(うち有症者11例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例(推定感染地: すべて国内) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(57歳死亡1例) ジアルジア症1例(推定感染地: プルキナファソ) 髄膜炎菌性髄膜炎1例(7カ月の乳児、型別不明。推定感染地: 国内) ツツガムシ病13例、デング熱1例(推定感染地: フィリピン) 日本脳炎1例(大阪府、73歳) バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(血液より)vanC型)
 - 急性ウイルス性肝炎5例 B型5例(感染経路: 性的接触3例、不明2例)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)
 - 後天性免疫不全症候群8例(無症候6例、AIDS 1例、その他1例)
 - 感染経路: 性的接触8例(異性間1例、同性間7例)
 - 梅毒8例(早期顕症6例、無症候性2例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

急性出血性結膜炎の定点当たり報告数は少ないものの、前週同様、過去5年間の同時期に比べるとかなり多い結果となった。都道府県別では長崎県(0.8)の報告が多い。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は例年通り、冬の比較的小さなピークを迎えており、過去5年間の同時期に比べやや多くなっている。都道府県別では前週同様、秋田県(2.2) 佐賀県(1.4)からの報告が多い。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くはない。インフルエンザの定点当たり報告数が0.6とさらに増加し、都道府県別でも福岡県(2.6)が前週の約5倍となり、広島県(1.8) 埼玉県(1.5) 佐賀県(1.4) 大阪府(1.3)をはじめ、9都道府県で定点当たり報告数が1.0を超えた。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加を続けており、佐賀県(3.1)をはじめ17都道府県で2.0以上となった。感染性胃腸炎の定点当たり報告数(12.4)は小幅な上昇に留まったが、静岡県(22.9)をはじめ7割の都道府県で10を超えている。水痘は前週に比べわずかに定点当たり報告数が減少した。都道府県別では福井県(4.7)からの報告が最も多く、1.0を超えていない都道府県は山梨県(0.6)のみとなった。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続して増加しており、都道府県別では北海道(1.1)に報告数の2割が集中している。麻疹(成人麻疹を除く)は46週から微増しており、福島県(0.5) 青森県(0.5) 宮崎県(0.5)の3県で増加が見られる。細菌性髄膜炎(0.03)の定点当たり報告数は、1999年から2001年までの3年間の平均の2倍以上であった。流行性耳下腺炎は全国的には余り大きな変化はないが、秋田県(4.5)や岩手県(3.8)で定点当たり報告数が増加した。マイコプラズマ肺炎は特に青森県(3.0)からの報告の増加が目立った。

発生動向総数(第49週)/過去5年間との比(log)

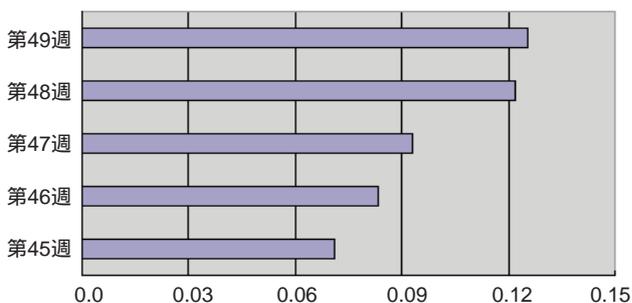


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

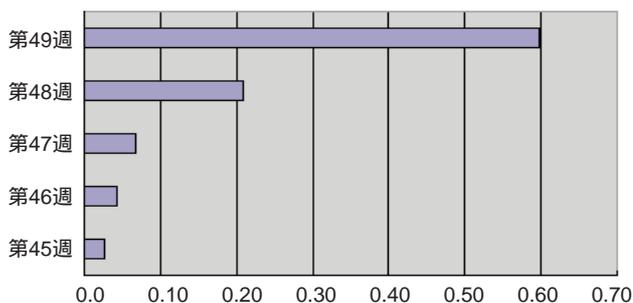
最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑の定点当たり報告数はすべて、増加している。水痘の定点当たり報告数は増加傾向にあるが、今週は前週に比べて減少した。

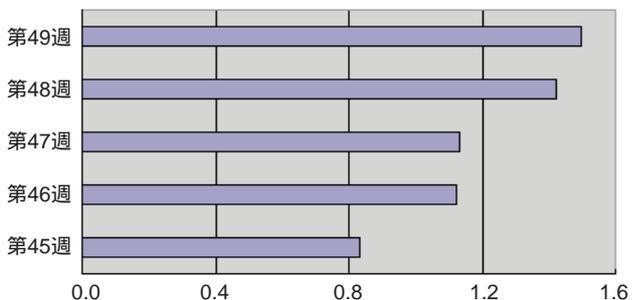
咽頭結膜熱



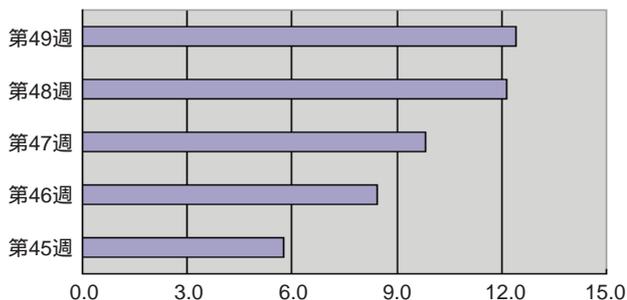
インフルエンザ



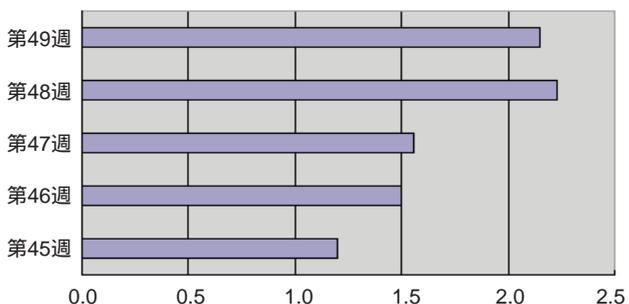
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



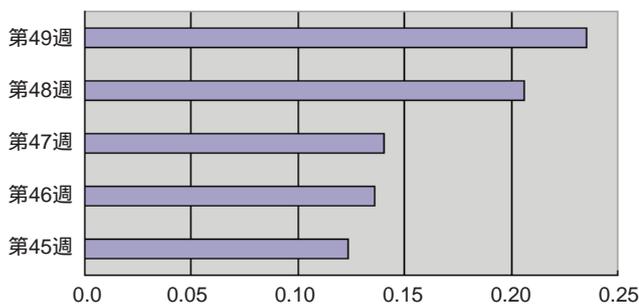
感染性胃腸炎



水痘



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

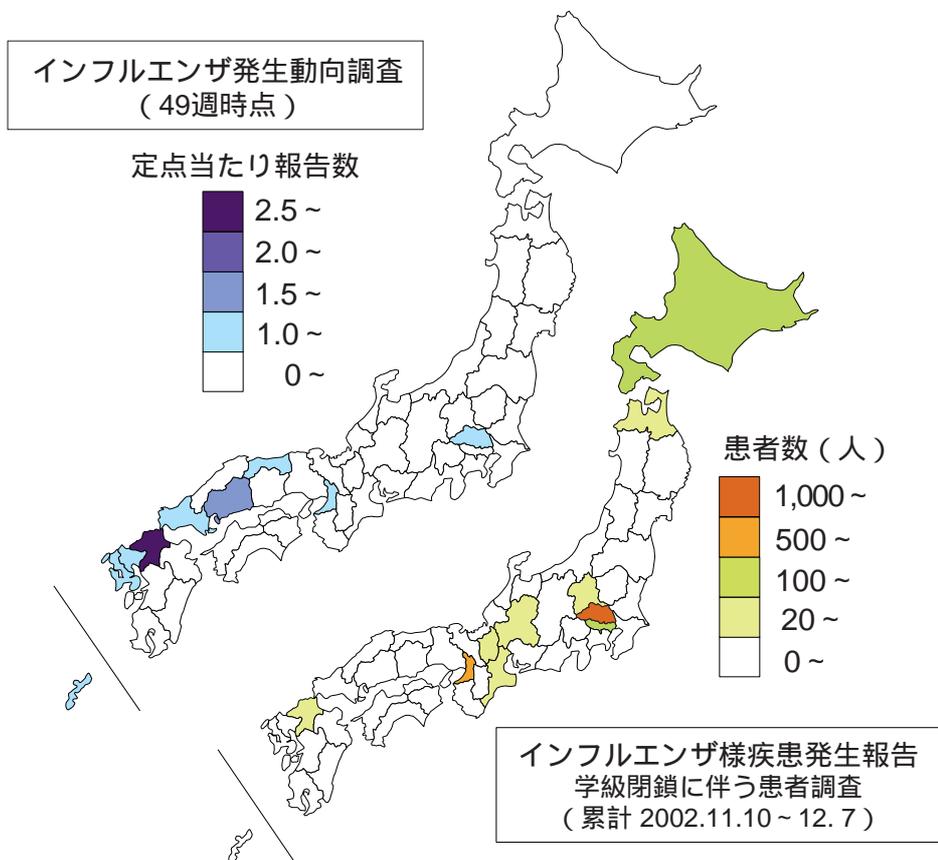
インフルエンザ

インフルエンザの定点当たり報告数はここ数週間で0.07(47週)、0.21(48週)、0.60(49週)と、急な増加を認めている。第49週では図に示すとおり、福岡県、広島県、埼玉県、佐賀県、大阪府、長崎県、山口県、沖縄県、鳥取県で定点当たり報告数が1.0を超えており、特に福岡県では2.56と他の都道府県に比べて非常に多かった。青森県、徳島県では第49週には報告がなかった。

病原体ではA香港型(H3N2)が分離されたウイルスの大半を占めているが、B型も少ないながら分離報告されている。Aソ連型(H1N1)については、今シーズンの分離はない。

インフルエンザの総合的な情報は以下のURLに記載されているので、参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>





病原体情報

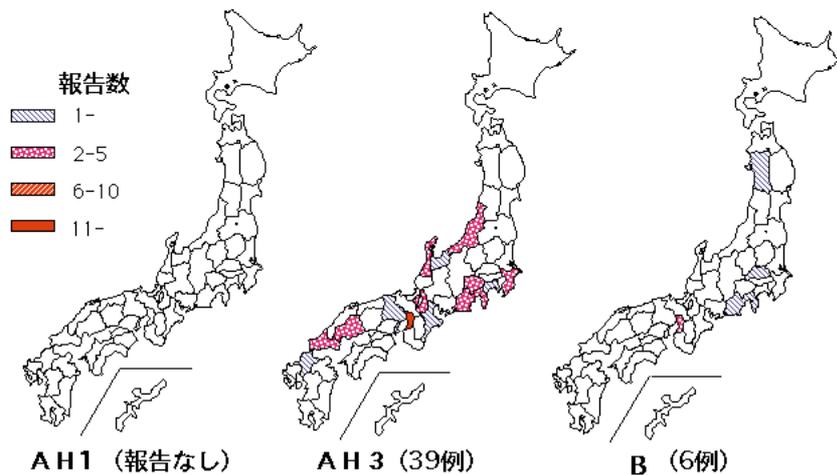
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年12月13日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2002/2003シーズン

AH3型ウイルスが第46週に大阪市、富山県、新潟県で分離されて以降、新たに第47週に山梨県、第48週に福岡市、川崎市、第49週に大阪府、広島市、神戸市、山口県、第50週に三重県で分離され、これまでに15地研から39件報告されている。このうちN型別された1件(川崎市)はN2であった。B型ウイルスは埼玉県(第46週1件)、静岡市(第48週1件)、秋田県(第49週1件)、大阪市(第49週3件)から分離が報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報：2002年12月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



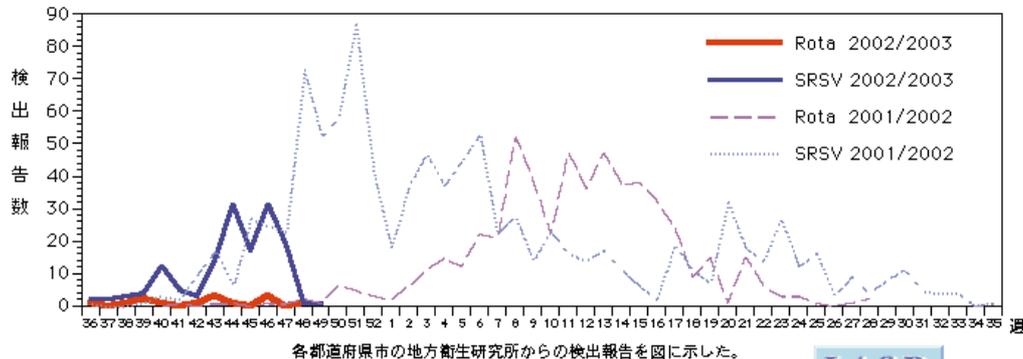
Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2002/2003シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)の検出報告は、ほとんどがノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIの報告であり、第45週以降、各地からの検出報告が相次いでいる。SRSVの検出は計145件で、内訳はNLV genogroup II 130件(愛媛県59、熊本県12、大阪府、大阪市各9など)、NLV genogroup I 1件(愛媛県)、NLV genogroup不明が9件(福井県7、仙台市1、東京都1)、サッポロ様ウイルス(SLV)が1件(大阪市)、電顕による検出が4件(栃木県)報告されている。ロタウイルスは、A群が14件(大阪市、島根県各3、福島県、福井県各2、岩手県、大阪府、奈良県、広島市各1)報告されている。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報：2002年12月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



今冬初発集団かぜからのA/H3N2型インフルエンザウイルスの分離 - 石川県

2002年11月25日、石川県での今冬初発の集団かぜがA小学校で発生した。患者数は全校生徒177人のうちの55人で、4年生が最も多く27人であった。

患者のうち、4年生の5人について咽頭ぬぐい液を採取し、MDCK細胞に接種した。その結果、5人中2人から培養初代でモルモット赤血球凝集能を有するウイルスが分離された。そこで上記分離ウイルスを抗原として、今年度ワクチン株を含むインフルエンザウイルス感染フェレット抗血清(国立感染症研究所から分与)を用いて、赤血球凝集抑制(HI)試験を実施した。

その結果、2人から分離されたウイルス株の各抗血清に対するHI抗体価は、抗A/Panama/2007/99(H3N2)型(ホモ価160)が160であったが、抗A/Moscow/13/98(H1N1)型(ホモ価320)、抗A/New Caledonia/20/99(H1N1)型(ホモ価320)、抗B/Shandong(山東)7/97(ホモ価640)、抗B/Hiroshima(広島)23/01(ホモ価320)はいずれも<10であった。また、分離ウイルスのノイラミニダーゼ(NA)サブタイプは、RT-PCR法によりN2型であることが確認された。

以上のことから、今冬初発の集団かぜは、A/H3N2(香港)型ウイルスのワクチン株であるA/Panama/2007/99(H3N2)に近縁の抗原性を有するウイルスによるものと考えられた。

石川県保健環境センター

尾西 一 黒崎直子 大矢英紀 芹川俊彦

石川県能登中部保健福祉センター

加茂野恭子 小林勝義

(IASR2003年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

コンゴ民主共和国での急性呼吸器症候群 - 更新

WHO/Disease Outbreaks Report 2002年12月12日

12月11日現在、Bosobolo, Gbadolite, Gemena, Karawa地区で流行が発生している(既報参照)。現地での医療スタッフとの連絡障害が続いているため、流行地域での包括的なサーベイランスデータを入手することが困難である。しかし、WHOは、Epicentreと国境無き医師団(MSFフランス)の実施した、Bosoboloの300戸に対する後向き調査の中間結果を報告した。合計で死亡者18名を含む患者1,245名が記録された(致死率1.4%)。罹患率は47%であった。

サーベイランスを実施した地域での流行は、2002年11月初旬がピークであった。全年齢層が感染していた。5歳以下と高齢者では3%以上の高い致死率であった。パリのパスツール研究所で行われた血液検査の中間結果から、このウイルスは、現在流行しているインフルエンザウイルス(H3N2)と一致していることが示された。ウイルスの性状を明らかにするため、さらなる検査が必要である。

WHO、MSFベルギー、MEMISA、FOMETROIは保健省に対し、検査診断と補給品供給の支援を行っている。

スコットランドでのEBL2感染患者発生について

Eurosurveillance Weekly: Issue 50 2002年12月12日

スコットランドでのEuropean Bat Lyssavirus 2(EBL2)のヒト症例が、11月のVeterinary Laboratories Agencyにより確認された。これは英国での最初のEBL2感染症例であり、1902年以来はじめての狂犬病様ウイルス感染例である。感染した男性は急速に進行する神経症状を呈して入院し、2002年11月24日に死亡した。この男性の臨床症状が狂犬病と一致したこと、また、コウモリ取り扱いの免許をもっており、スコットランドでコウモリに咬まれる機会が何度かあり、潜伏期間中に一度咬まれていることから狂犬病様疾患が疑われた。狂犬病流行国への最近の渡航歴はなかった。コウモリ咬傷に関して、曝露前後にワクチン接種は受けていなかった。

この例は世界で4例目のEBL感染確定症例であり、2例目のEBL2感染症例である。

過去に報告された3例は、1977年のウクライナの1例、1985年のフィンランドとロシアのそれぞれ1例である。3例ともコウモリと密接な接触があった。旧ソ連での2例は、コウモリに咬まれた子供のEBL1感染であった。フィンランドでの例はコウモリ取り扱い業者であり、EBL2の唯一の症例であった。3例とも曝露前後にワクチンを受けていなかった。臨床症状は古典的な狂犬病と類似しており、4例全例が死亡した。

スコットランドでの今回の狂犬病様感染診断に先立ち、EBL2感染が2匹のコウモリで確認されていた。1例は1996年にイングランド南海岸のNewhaven、もう1例は2002年にLancashireであった。両コウモリともDaubentonコウモリ(*Myotis daubentonii*)であった。1996年には、コウモリはヨーロッパ大陸から来たのではないかと考えられた。しかし、2002年のLancashireのコウモリの例や、コウモリ取り扱い業者での感染確認は、非常に低い頻度ながら英国のコウモリにEBLが常在している可能性が高まった。英国Veterinary Laboratories Agencyは、毎年200匹のコウモリからこのウイルスについて検査を行っているが、1996年と2002年の2例以外にはEBLは確認されていなかった。

EBL1と2は、ヨーロッパで食虫コウモリにより媒介される狂犬病様ウイルスである。これらのウイルスは、アメリカ大陸やオーストラリアで古典的狂犬病やコウモリ狂犬病の原因となるウイルスと

同じ *Lyssavirus* 属であるが、遺伝子型と血清型は異なる。世界的には、毎年30,000 ~ 50,000名の死亡者が発生しているため、古典的狂犬病の方がEBLよりもより大きな問題となっている。15分に1名の割合で、世界のどこかでこのウイルスに感染して死亡している計算になる。ヨーロッパ地域では多くの高度狂犬病汚染国と異なり、暴露後接種を行う余裕があり、EUの国々では狂犬病の征圧に成功してきた。古典的狂犬病で成功を収めた征圧対策と同様の対策は、コウモリのEBLにはまだ開発されていない。

狂犬病の存在しない西欧の国々でも、EBL 1と2の感染リスクが少ないながら存在する。

1977年 ~ 2000年の間に、ヨーロッパでは630匹のコウモリからEBL感染が報告された。そのほとんどはEBL 1であった。EBL感染はデンマーク、フランス、ドイツ、オランダ、スペインなどの多数の国で発生した。コウモリのEBL感染頻度がヨーロッパで近年増加してきているが、EBL 2は依然としてEBL 1よりまれであった。狂犬病様ウイルスの種類や分布するコウモリの種類が異なるため、コウモリ接触後の狂犬病の危険がより大きいアメリカ大陸と比較すると、この地域の危険は低い。EBL 1と2は他の種に容易に伝播しないと考えられ、このためヒトの感染はまれである。コウモリ狂犬病の発生が報告されている地域でも、他の動物がコウモリ狂犬病に感染することは非常にまれである。EBL 1感染が報告されたのは、デンマークでの4頭の羊とドイツでの1頭のブナテンのみである。英国内のコウモリからEBL 2が分離されたが、英国内のイヌやネコなどのペット動物、野生の陸生哺乳類には実質的にEBL感染の危険性はない。

予防：一般人に対するコウモリの危険は実質的になく、また、コウモリはヨーロッパや他の国で法律により保護されている。もしコウモリに出くわしたら、接触せずに助言を求めるべきである。英国ではUK Bat Helpline(+44-845-130-0228, http://www.bats.org.uk/bat_info.htm)により、ボランティアグループBat Conservation Trustにアクセスすることができる。英国でのコウモリに関するアドバイスは、Lancashireでのコウモリ狂犬病症例により変更された。免許所持者がボランティアのコウモリ取り扱い者のみがコウモリと接触することができ、その際十分に注意を払い、コウモリに咬まれないように手袋を着用すべきである。保健省は、免許保有の有無にかかわらず、コウモリ取り扱い者に対する暴露前予防接種を勧告している。イングランドとウェールズのコウモリ取り扱い者に対し、ワクチンがPHLSから無料で提供される。これは、コウモリ取扱免許保有者に対してワクチン無料接種を制限した前回の勧告を改正したものである。

暴露後接種：英国では、コウモリの密接な接触を受けた人の治療方針も変更された。

EBLへの暴露に対する発病予防のための処置は、狂犬病ウイルス曝露の可能性に対する処置と同様であり、非常に効果が高いと考えられている。英国でコウモリにひっかかれたり咬まれた人や、目、傷口や粘膜にコウモリの唾液や神経組織が接触した人は、できるだけ早く暴露後予防接種を受けるべきである。過去に完全接種を受けていた場合には、2回の接種を受けるべきである。過去に接種していない場合や不完全な接種の場合には、5回の接種を受けるべきである。過去に接種を受けておらず、狂犬病感染コウモリや感染が強く疑われるコウモリに咬まれた場合、ワクチン完全接種の他に、狂犬病免疫グロブリンを投与するべきである。英国以外の国の公衆衛生当局は今回の変更留意し、英国でコウモリに曝露された英国帰りの旅行者に対し予防手段が提供されるように留意すべきである。狂犬病ワクチンは狂犬病ウイルスの古典型(遺伝子型1)に基づいたものであるが、遺伝子型1、遺伝子型5(EBL1)、遺伝子型6(EBL2)に対する交叉免疫がある。適切にワクチン接種が行われれば、ワクチン接種が無効であることはきわめてまれであ

る。オランダ、デンマーク、ドイツ、スペインでは過去数年来、コウモリからEBL 1とEBL 2(ほとんどEBL 1)を検出してきており、コウモリ咬傷やひっかき傷などの暴露後にワクチンと、必要ならば狂犬病免疫グロブリンを提供してきた。過去20年間オランダでは、EBL陽性コウモリに咬まれて数百名が遺伝子型1の狂犬病ワクチン接種を受けたが、EBL感染患者の発生は見られなかった。古典的な狂犬病は不治性であるが、完全に予防可能な疾患である。EBL 1や2がこれと異なることを示す証拠はない。

客船でのノロウイルスによる胃腸炎流行 - 米国2002年

CDC/MMWR, 51(49): 1112-1115.

海外での航海後米国内の港に入港する客船での急性胃腸炎(AGE)のサーベイランスを実施しているCDC船舶衛生計画(VSP)は、今年12月2日までに、17隻の客船から延べ21件の急性胃腸炎(AGE)流行報告を受けた。発病した患者の便検体の検査によって、21件の流行中9件がノロウイルスによるものであることが確認されたが、3件が細菌性であり、残りの9件は病因が特定できなかった。2001年には急性腸炎流行7件が報告され、そのうちの4件がノロウイルスによるものと確認された。

A号: 7月18日A号(船会社A所有)に、バンクーバーからアラスカまでの7日の船旅のため、1,318名の乗客と564名の乗員が乗船した。7月19日に船の診療所で、5名の乗客が急性胃腸炎の症状を訴えた。7月25日までに合計で乗客167名(13%)、乗員9名(2%)が症状を訴えた。176名の患者の主な症状は嘔吐(76%)と下痢(73%)であった。乗客の患者から得られた10の便検体のうちの5検体が、RT-PCR法によりノロウイルスが陽性であった。7月25日乗客下船時に、この船はCDCの勧告に従い消毒された。そして同日、別の乗客が次の7日間の船旅に出発した。この船旅の間、乗客1,336名中189名(14%)と乗員571名中30名(5.3%)が下痢(91%)と嘔吐(85%)を示す急性胃腸炎を訴えた。CDCによる環境保健検査では衛生上の問題点は見つからなかった。船会社Aは以後の船旅をキャンセルして、徹底的な清掃と消毒のために1週間自発的に運行を停止した。以後の船旅では流行は報告されなかった。

B号: 10月1日B号(船会社A所有)に、ワシントンからフロリダまでの21日の船旅のために、1,281名の乗客と598名の乗員が乗船した。10月16日までに診療所で、乗客101名(8%)と乗員14名(2%)が胃腸炎症状を訴えた。10月18日、CDCの調査官は疫学環境調査のために乗船した。調査した972名の乗客のうち、399名(41%)は胃腸炎の診断基準を満たした。発病と水、特定の食品との関連は見られなかった。また、外国での遊覧とも関連は見られなかった。13の便検体中12検体からノロウイルスが検出された。

RT-PCR産物の遺伝子配列分析による遺伝子型は、A号での遺伝子型と一致した。船の消毒と発病者の隔離などによる征圧対策実施にもかかわらず、以後3回の10日間の船旅で、合計乗客264名と乗員41名が発病した。徹底的な清掃と消毒のため、船会社Aは自発的に10日間運行を停止した。以後の航海では患者は発生していない。

C号: 9月28日、フロリダからカリブ海まで往復する7日間の船旅のため、C号(船会社B所有)に乗客1,984名、乗員941名が乗船した。乗客数名が乗船後24時間以内に胃腸炎を発病し、10月1日までに合計乗客70名(4%)、乗員2名(0.2%)が発症したと報告した。10月3日、CDCの調査官は

疫学環境調査を実施するため乗船した。

乗客1,879名(95%)、乗員860名(91%)から質問票を回収し、乗客356名(19%)と乗員13名(1.5%)が胃腸炎の診断基準を満たした。疫学調査の結果、一つの感染源が示唆され、ヒト-ヒト感染による患者発生が続いたことが示唆された。この調査では、乗船後に配られた昼食と発病した乗客に関連がみられた。(オッズ比=2.4, 95%信頼区間=1.1~5.2, $p=0.02$)。患者の11便検体のうちの4検体はRT-PCR法によりノロウイルス陽性であった。RT-PCR産物の遺伝子配列解析による遺伝子型は、3週間前に同船で発生した流行時の遺伝子型と一致した。しかし、A号とB号の流行時の遺伝子型とは一致しなかった。CDCは、消毒の強化と、発病した調理師を業務からはずすことを勧告した。C号は営業を継続し、以後の航海では患者流行は報告されなかった。

D号:10月25日D号(船会社C所有)に、フロリダへの14日の航海のため、スペインで乗客2,882名、乗員944名が乗船した。10月28日に診療所で、合計乗客70名(2.5%)が胃腸炎発症を訴えた。翌日以降、発病患者数は急激に減少した。11月2日までに合計で乗客106名(5%)、乗員25名(3%)が発病を訴えた。6名の患者の便検体中4検体から、RT-PCR法によりノロウイルスが陽性であった。RT-PCR産物の遺伝子配列解析により、他の流行と遺伝子型が異なることが示された。乗客が乗船したまま、症状消失後72時間以内の乗員の隔離、船の消毒、衛生措置の強化などの流行征圧手段がとられた。以後の航海で新たな患者流行はみられなかった。

E号:11月16日E号(船会社D所有)に、フロリダからカリブ海までの7日間の航海のため、乗客2,318名、乗員988名が乗船した。11月20日までに診療所で、合計で乗客28名(1%)、乗員7名(1%)が急性胃腸炎を訴えた。11月23日の下船までに、合計で乗客260名(12%)、乗員17名(2%)が発症を報告した。11月23日にCDC調査官が乗船し、上陸前に全ての乗客から質問票を回収した。合計で乗客1,280名(55%)から質問票が回収された。このうち、492名(21%)が胃腸炎の診断基準を満たした。患者からの12検体中7検体がRT-PCR法により、ノロウイルス陽性であった。RT-PCR産物の遺伝子配列解析による遺伝子型は、A号とB号での流行の遺伝子型と一致した。消毒衛生措置の実施にかかわらず、次の航海でも患者流行が続いた。11月30日に船会社Dは、この船に対し徹底的な清掃消毒のため1週間運行を停止した。

編集者注釈:客船での感染流行は、ノロウイルスが容易にヒトからヒトへと感染し、その結果大規模な集団感染となることを示している。発生した事例からは、ウイルスによる船内の環境汚染や、感染した乗員が別の乗客への感染源となりうることを示唆される。今年客船から報告されたノロウイルス流行件数が増加した背景としては、感染件数が実際増加しているため、2001年1月1日に導入された電子媒体による報告システムにより、サーベイランスが改善されたため、ウイルスに対する感度の高い遺伝子配列診断が適用されたため、などが考えられる。サーベイランスシステムでは、船内の医務室や乗船している指定された職員に報告された症例を捕捉している。乗員・乗客に症例が発生しても、このシステムから漏れれば報告されない。2002年にCDCは、陸上で発生したノロウイルスが原因の急性腸炎流行26件を確認した。3例は、今回事例報告を行った3件の客船での流行(A,B,E)の際検出された株に極めて類似したウイルス株が病因であった。陸上で発生した流行数件では、ユニークな遺伝子配列を持ったノロウイルスが病因であったが、その流行間に疫学的なつながりはないものの、同じ遺伝子配列のウイルス株が確認された。疫学的なデータがあっても同じウイルス株による流行では、さらに遺伝子解析を進めれば、それら流行間の関連が解明される可能性もある。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。



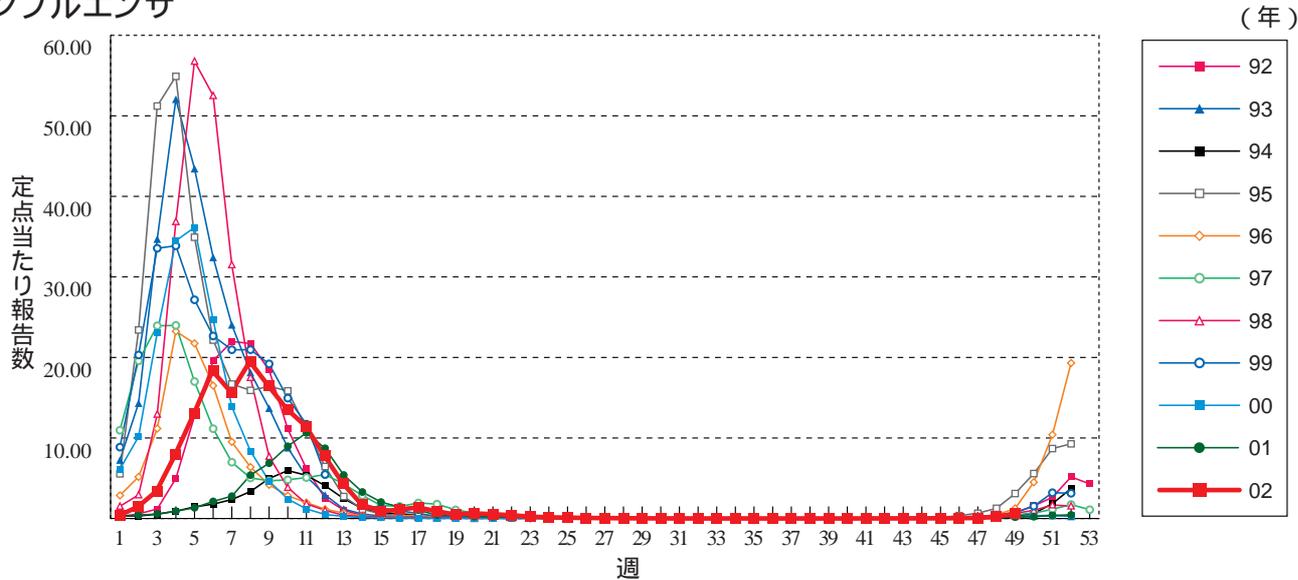
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

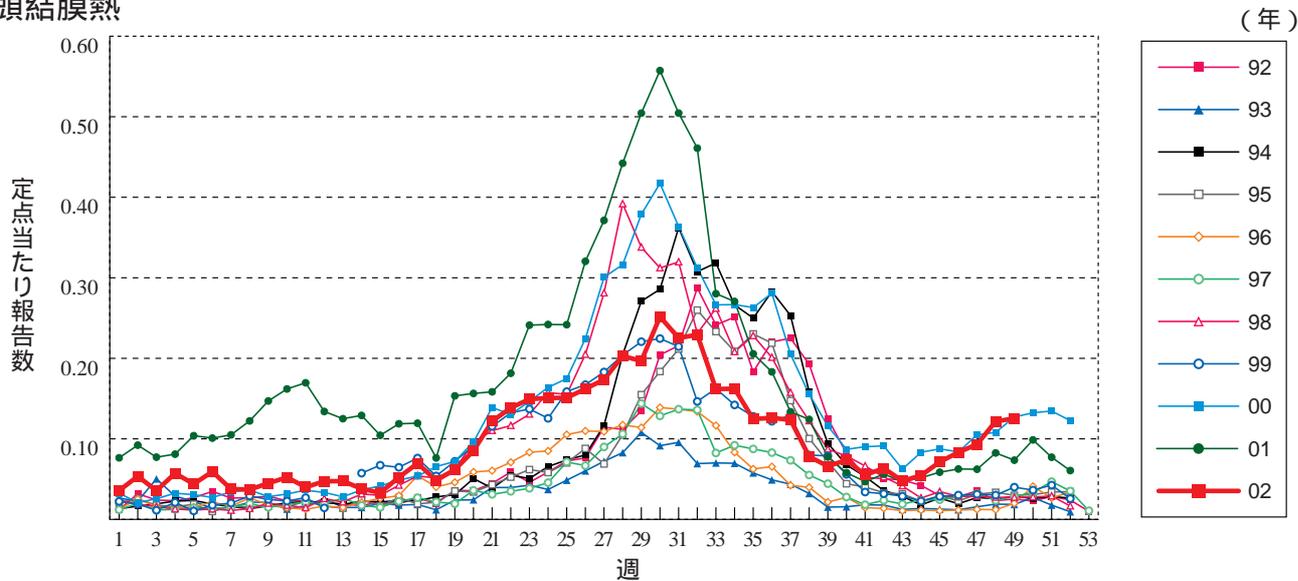
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(49週)

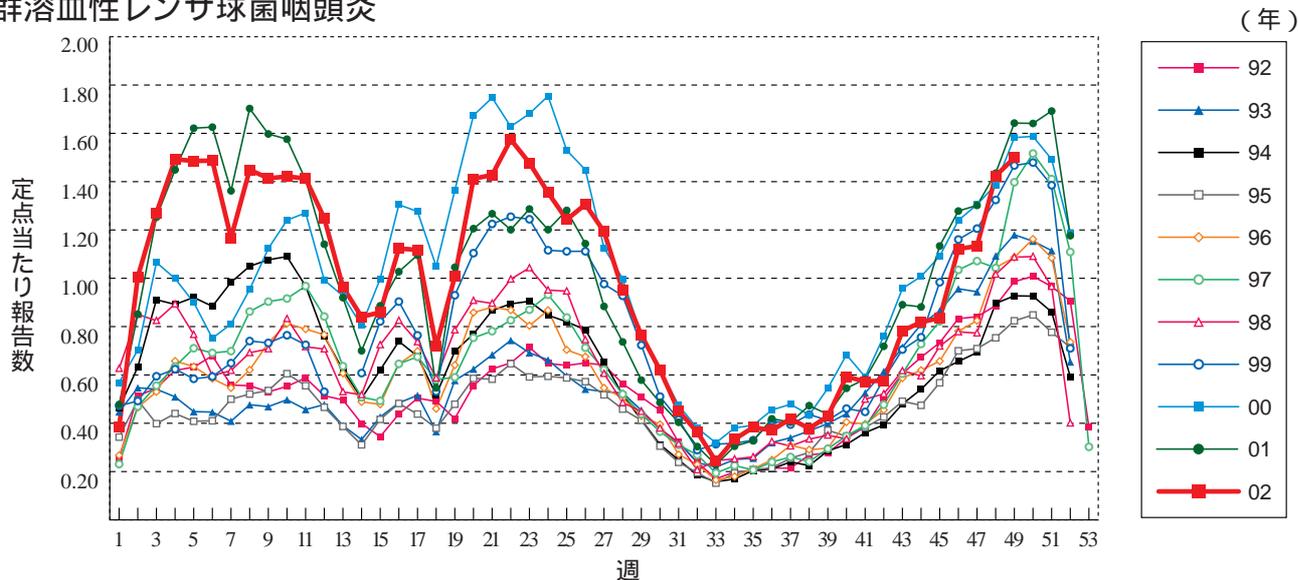
インフルエンザ



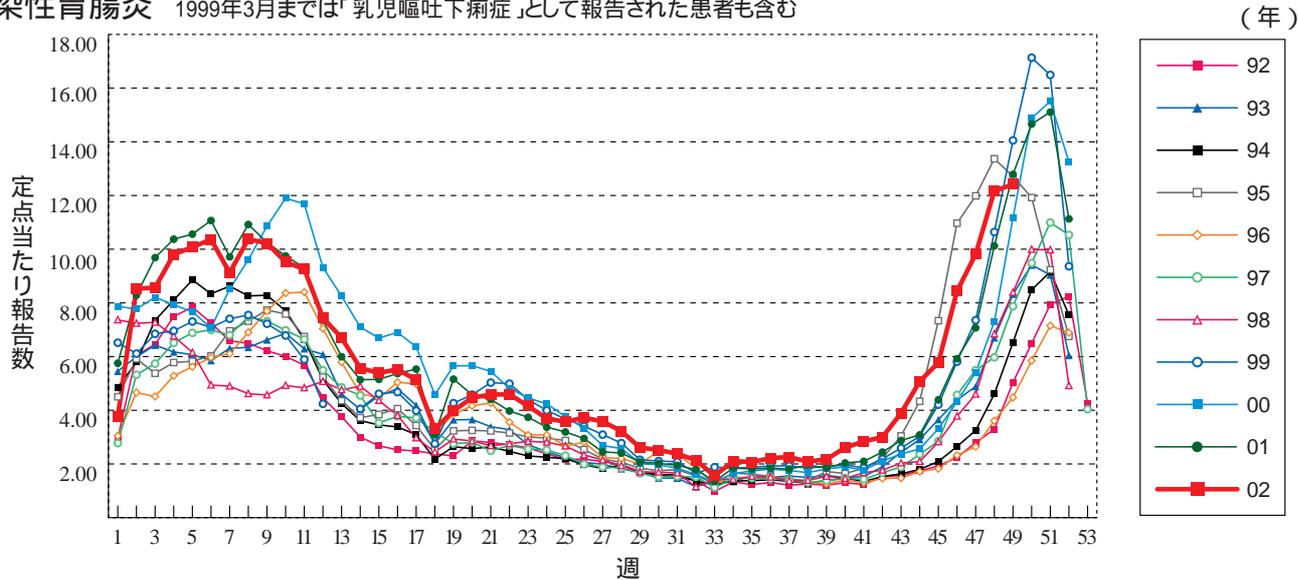
咽頭結膜熱



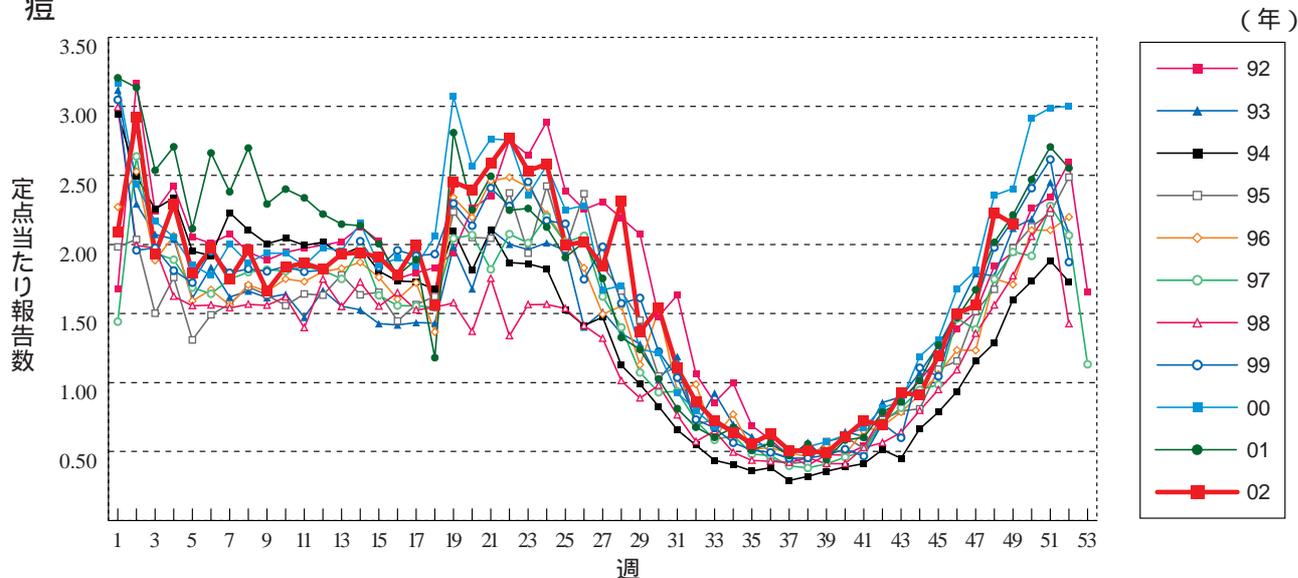
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



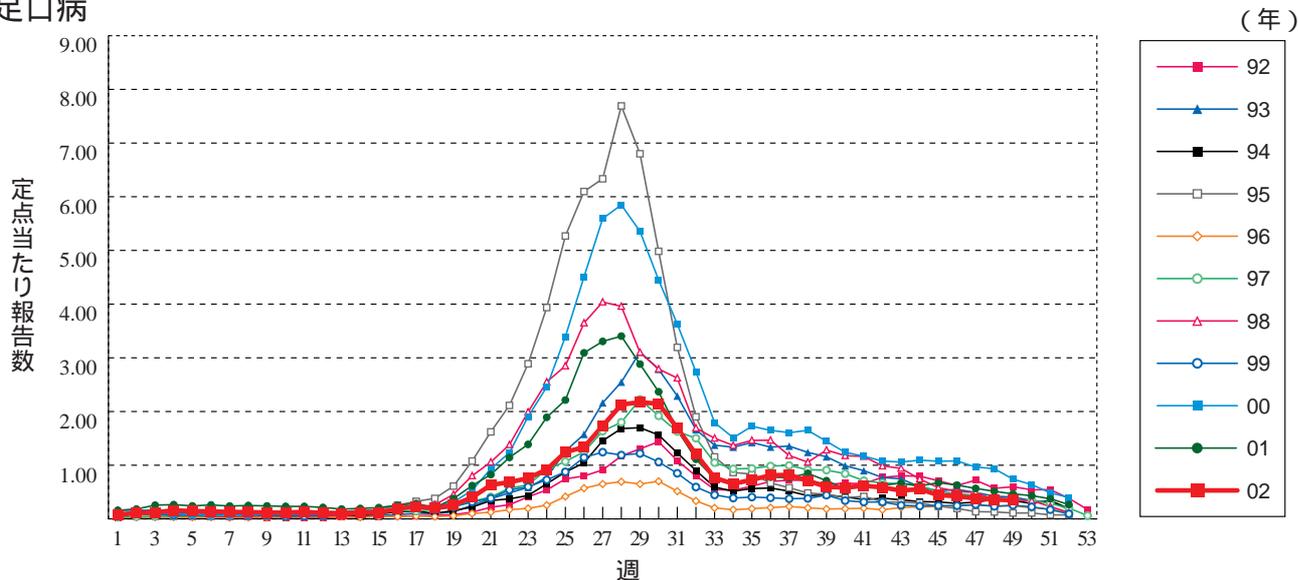
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



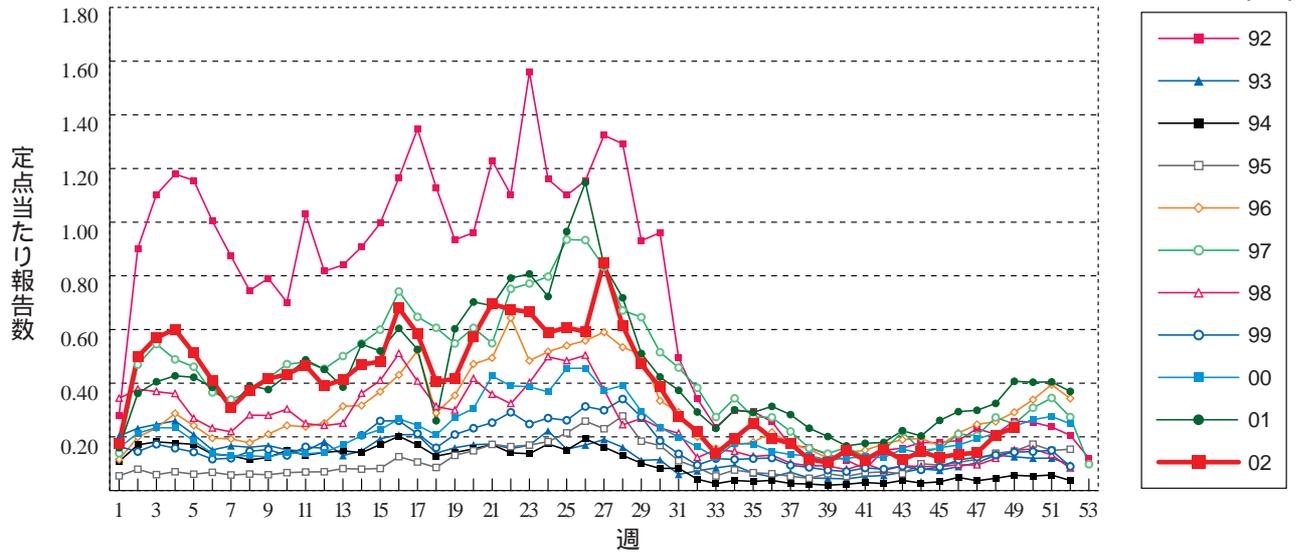
水痘



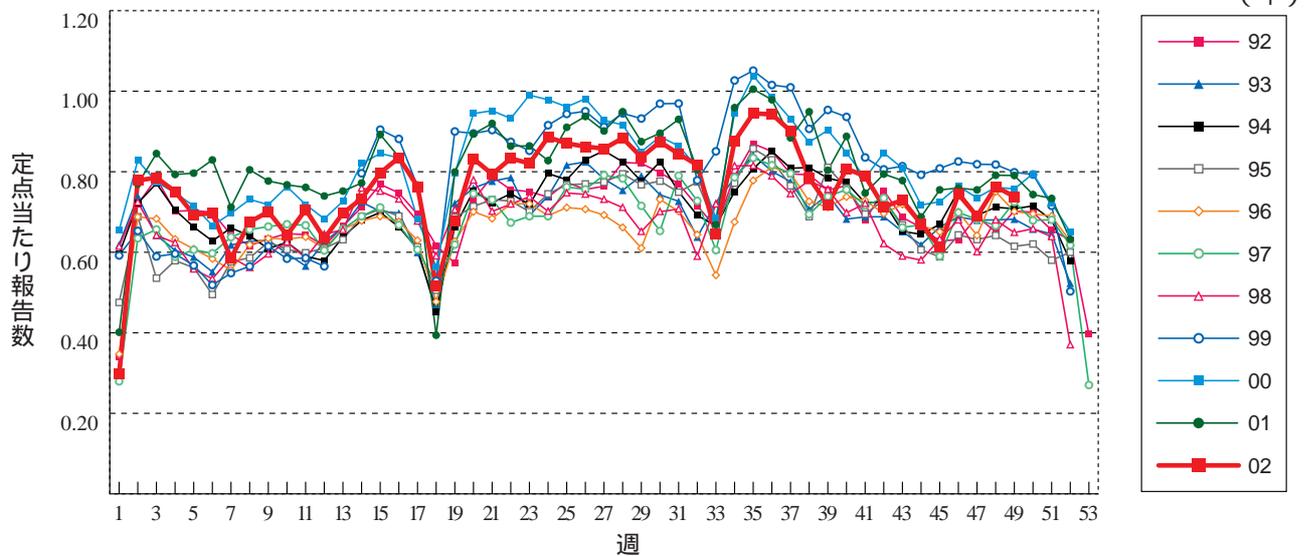
手足口病



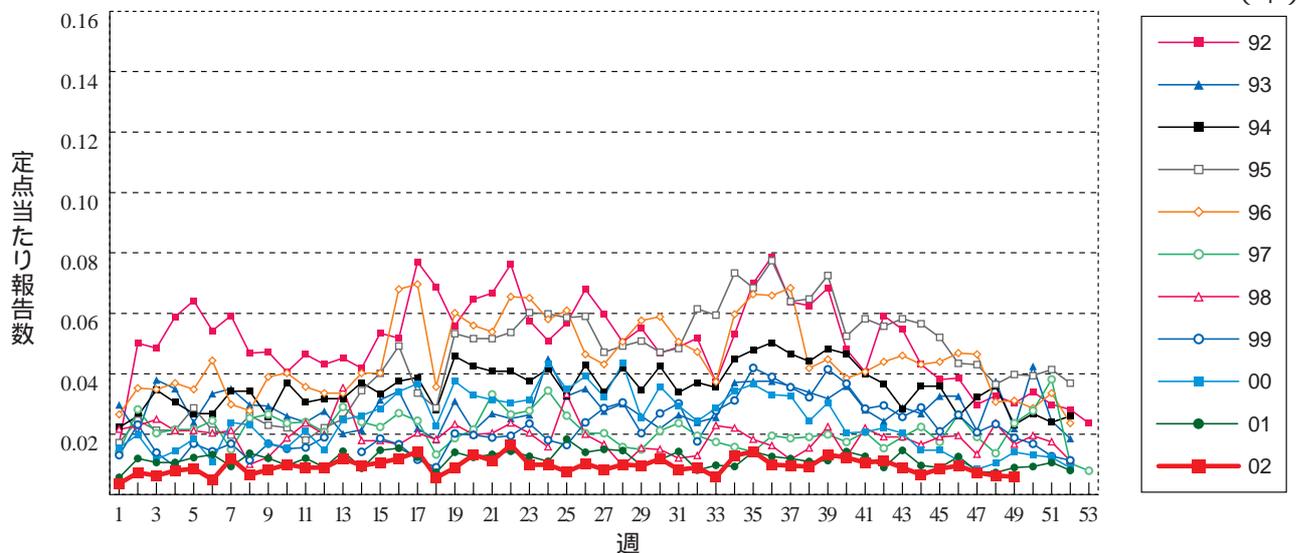
伝染性紅斑



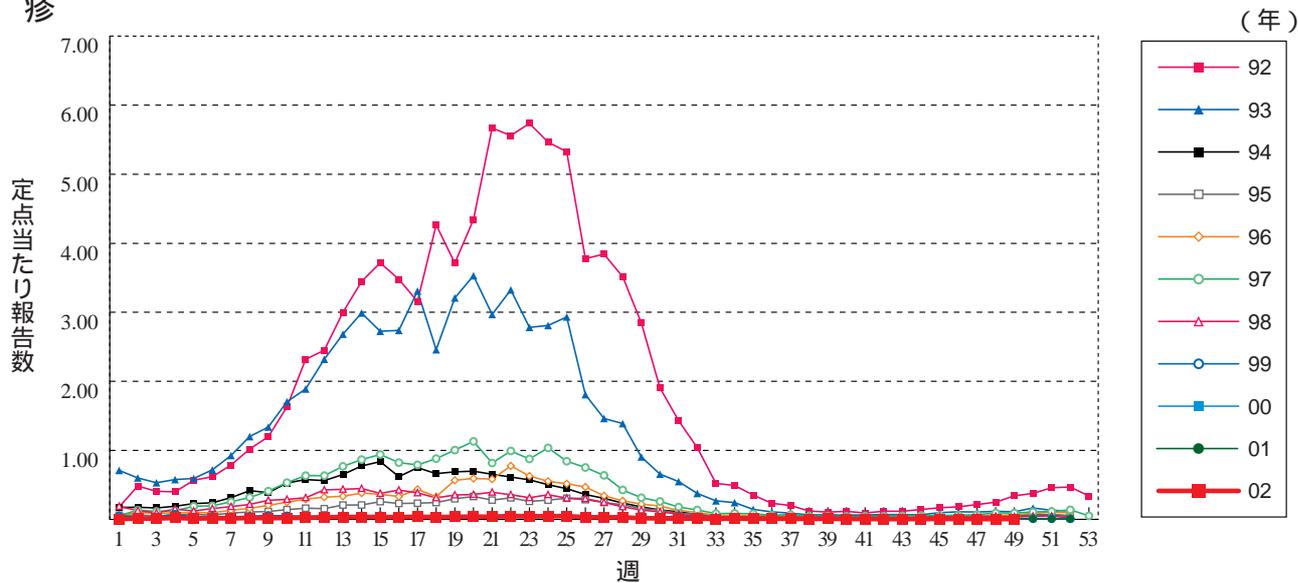
突発性発疹



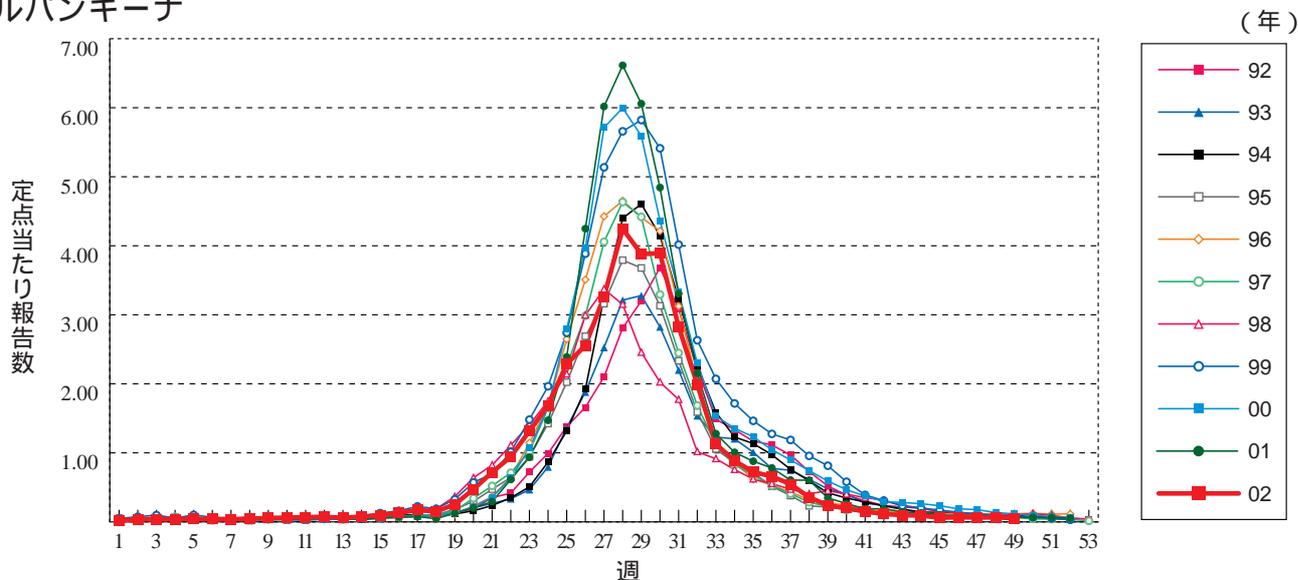
百日咳



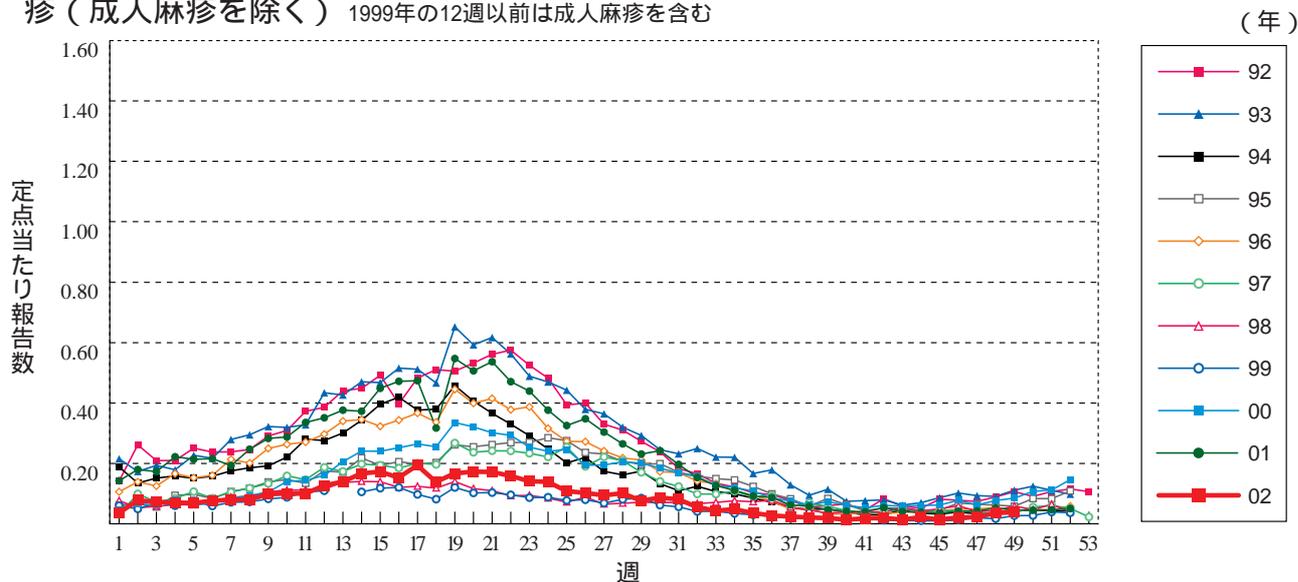
風 疹



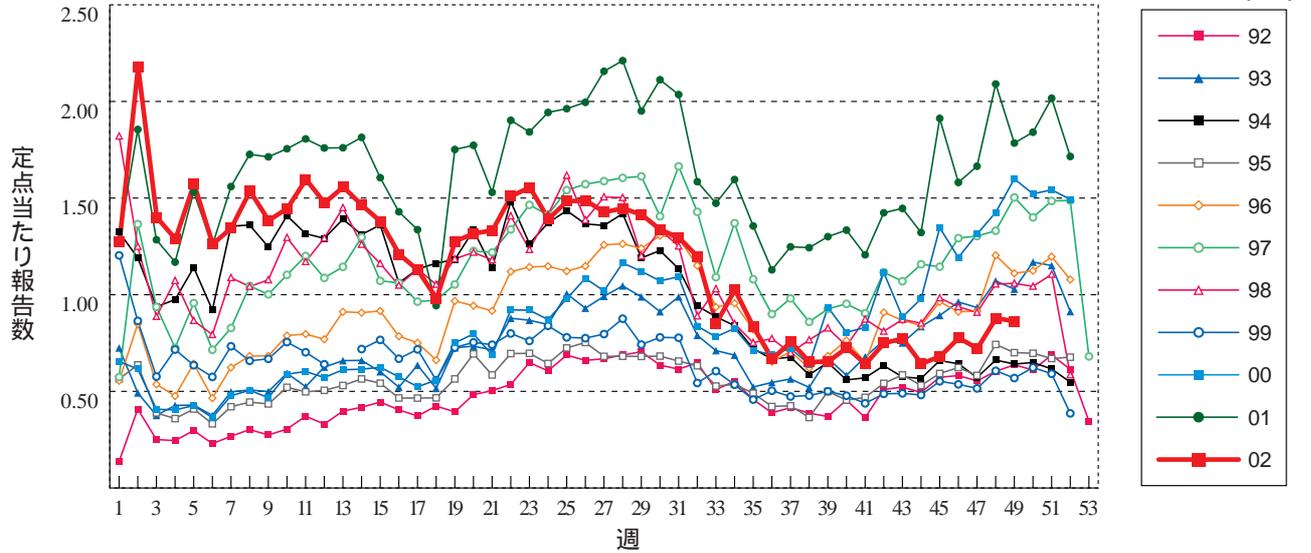
ヘルパンギーナ



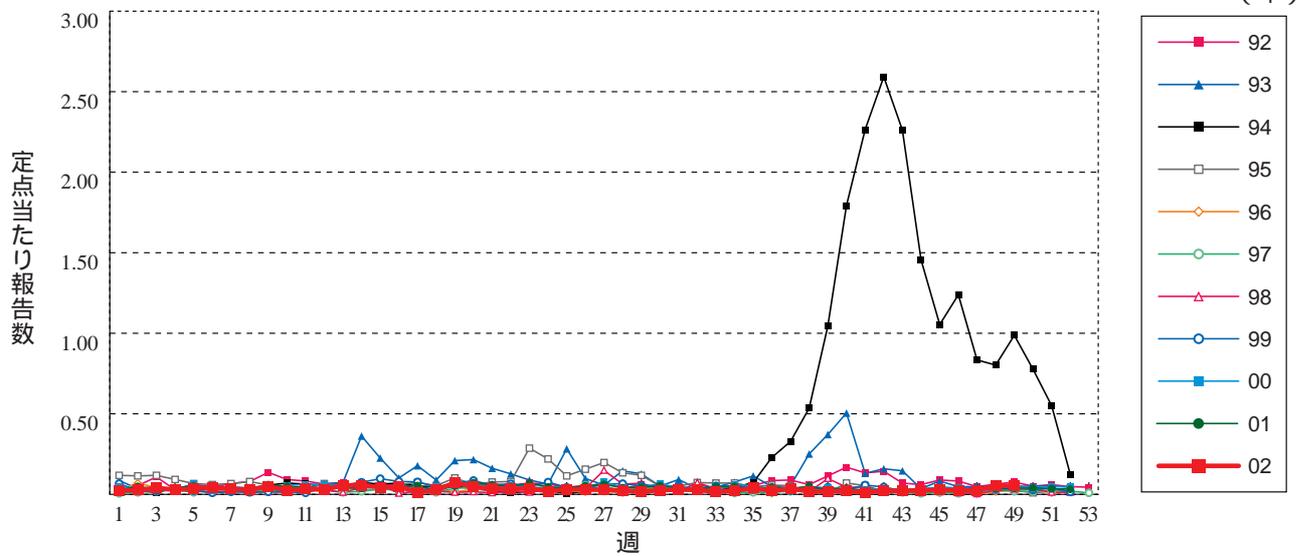
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



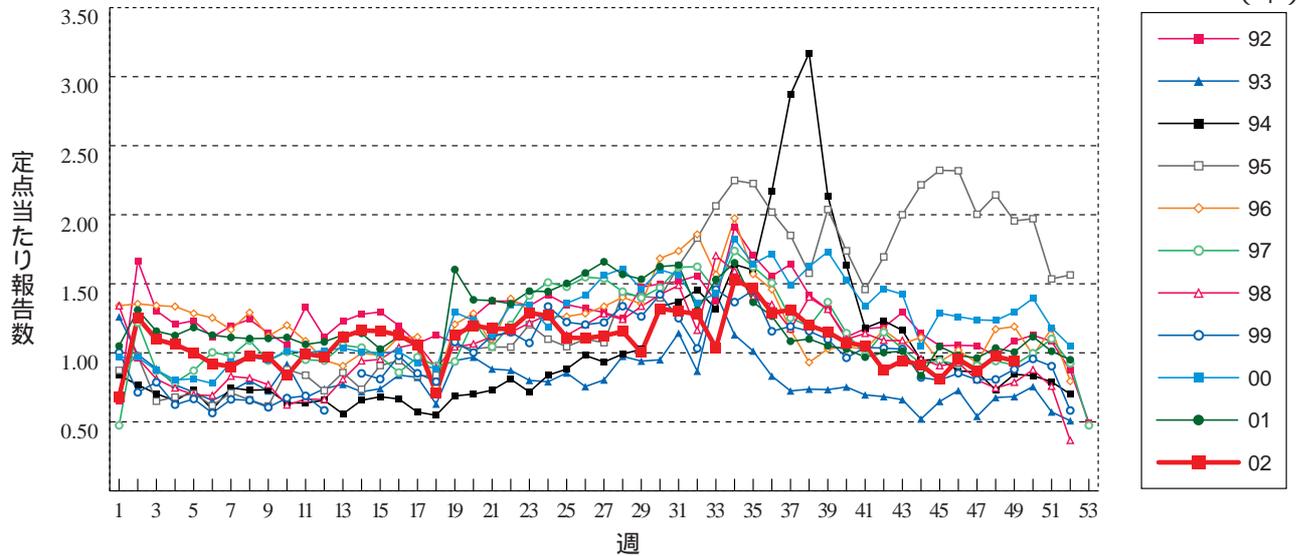
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

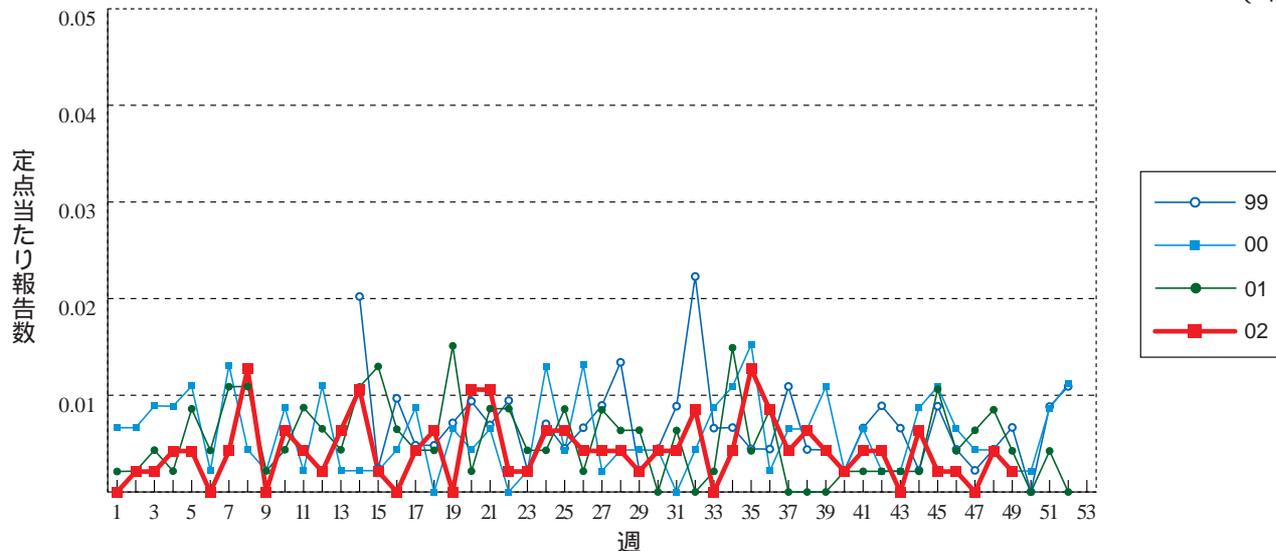


流行性角結膜炎



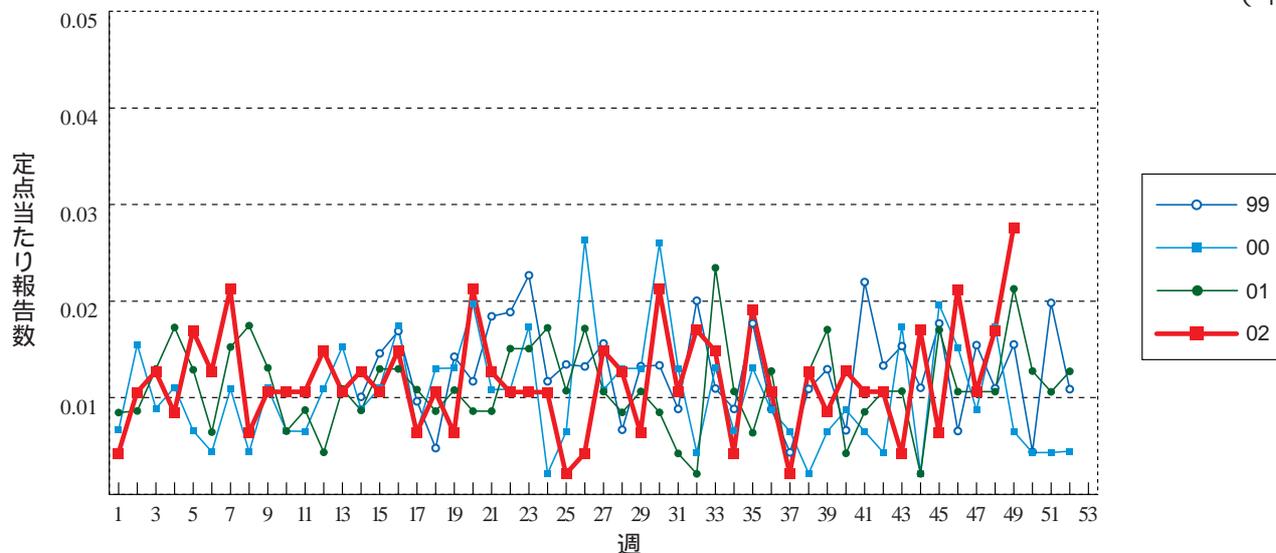
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



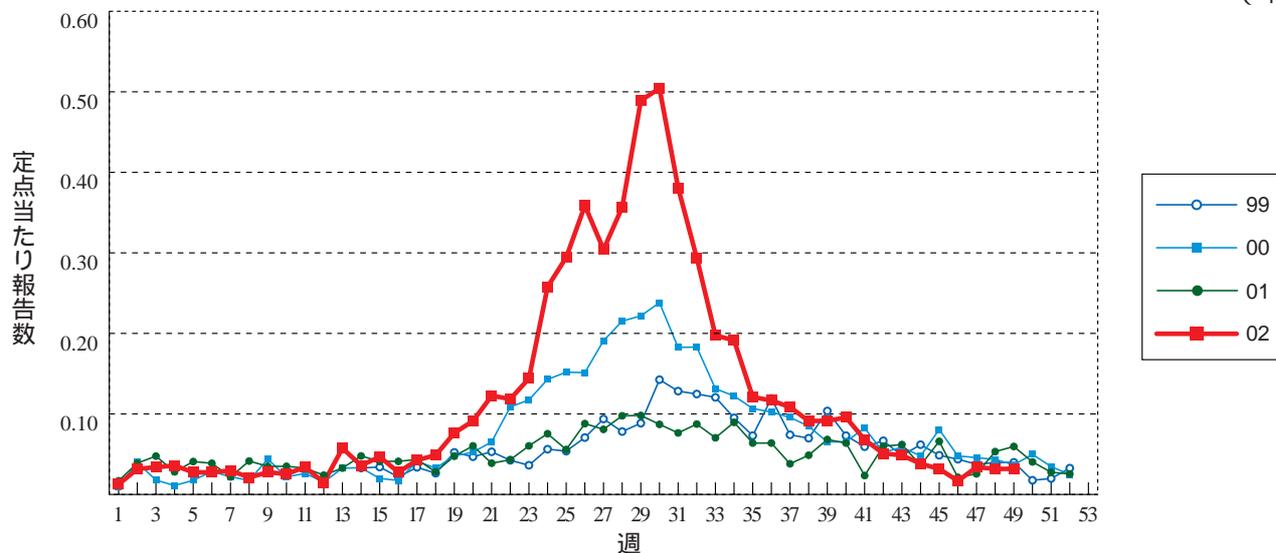
細菌性髄膜炎

(年)



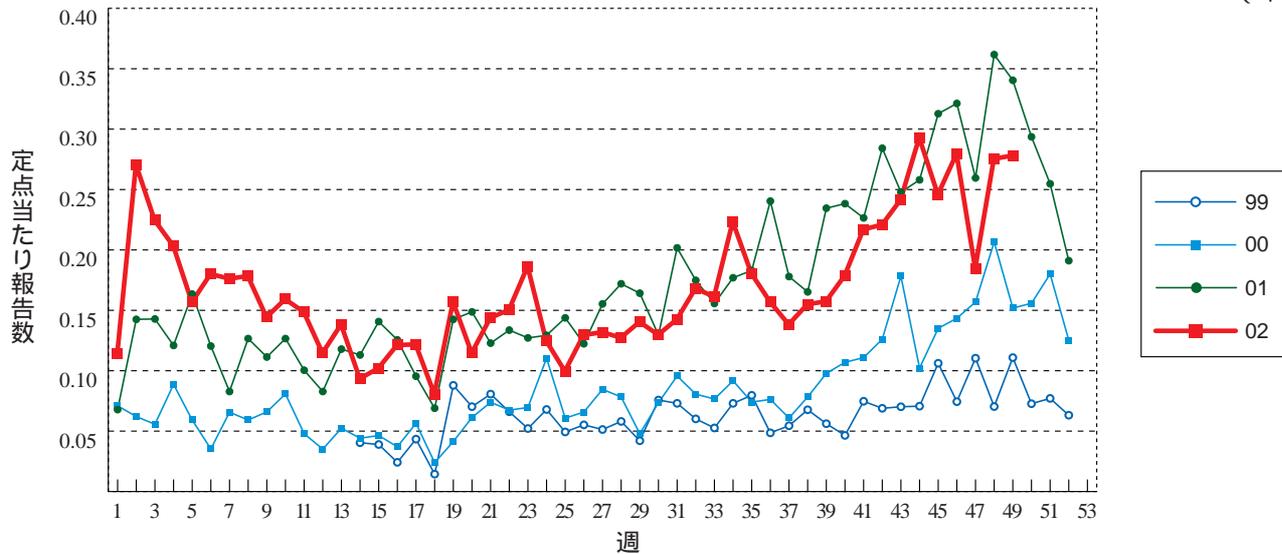
無菌性髄膜炎

(年)



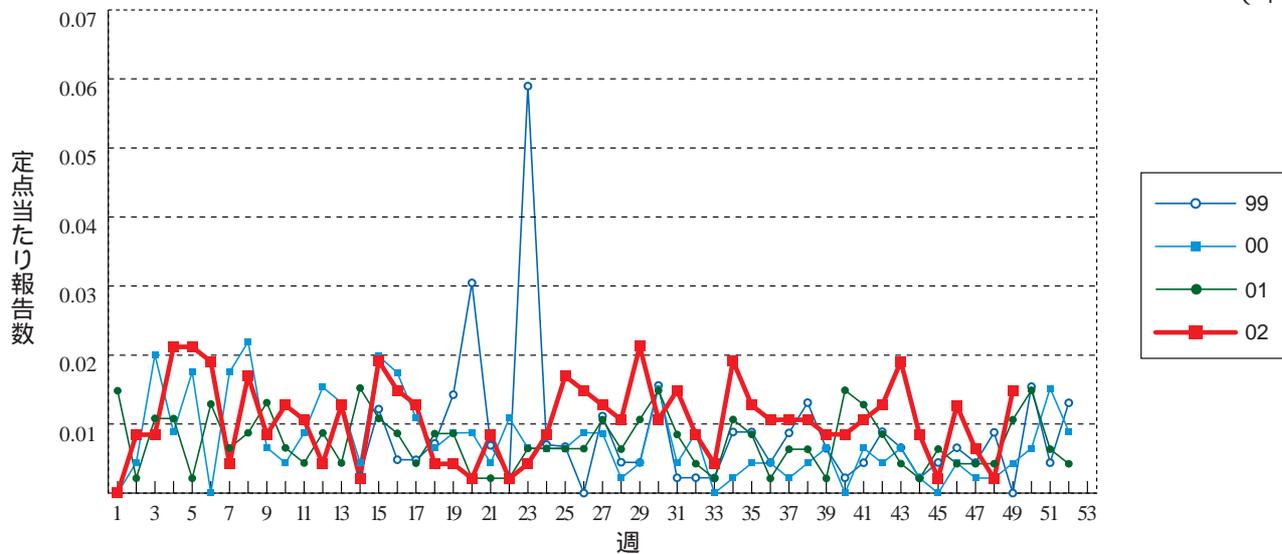
マイコプラズマ肺炎

(年)



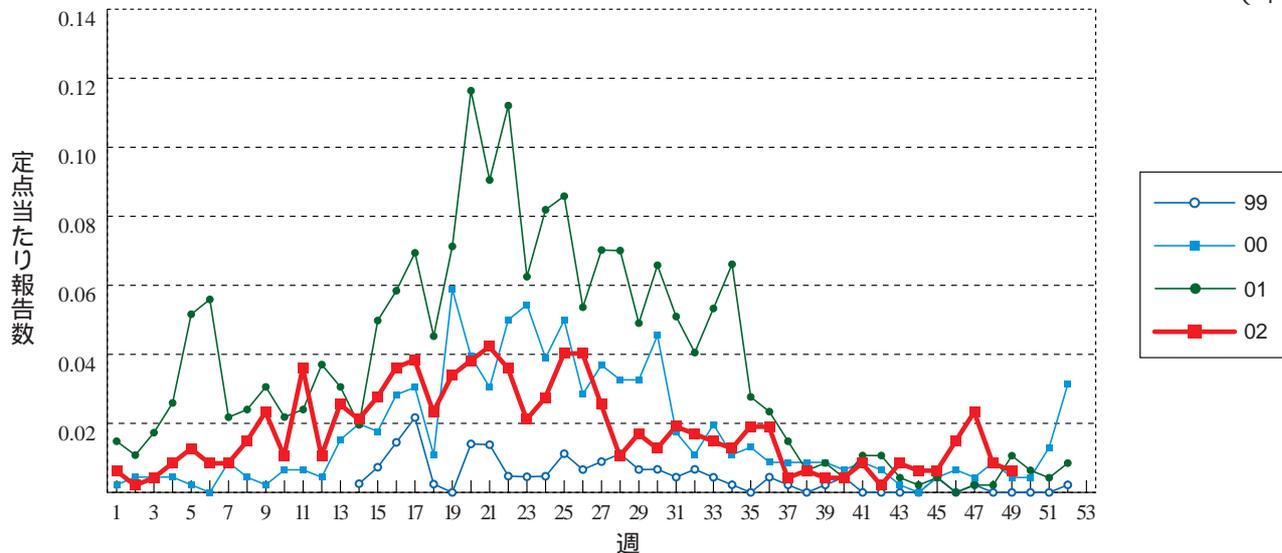
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





49週のデータ

注)表中の報告数は12月12日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年49週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	5	661	1	61	1	31		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	2	-	1		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	1		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	1	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	31	-	3	-	1		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	81	-	2	-	1		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	3	103	-	22	-	11		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	34	-	4	-	1		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	10	-	1	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	1		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	37	-	-	-	1		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	1	-	2		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	1		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	-	3		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	41	-	6	-	3		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	4	1	2		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	1	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	4	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	1	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年49週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	16	3093	3	421	-	9	-	-	-	55	-	-	5	875
北海道	-	-	-	-	-	121	-	17	-	8	-	-	-	3	-	-	-	15
青森県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	-	89	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
宮城県	-	-	-	-	-	71	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	2	40
秋田県	-	-	-	-	1	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山形県	-	-	-	-	-	40	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
福島県	-	-	-	-	-	19	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	18	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	1	178	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
群馬県	-	-	-	-	-	42	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
埼玉県	-	-	-	-	1	71	1	12	-	-	-	-	-	1	-	-	2	39
千葉県	-	-	-	-	-	137	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
東京都	-	-	-	-	3	178	1	113	-	-	-	-	-	5	-	-	1	152
神奈川県	-	-	-	-	-	89	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41
新潟県	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
石川県	-	-	-	-	-	107	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福井県	-	-	-	-	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長野県	-	-	-	-	1	88	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11
岐阜県	-	-	-	-	-	19	-	12	-	-	-	-	-	3	-	-	-	23
静岡県	-	-	-	-	-	45	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	21
愛知県	-	-	-	-	-	118	-	22	-	-	-	-	-	1	-	-	-	47
三重県	-	-	-	-	-	22	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	13	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	54	-	14	-	-	-	-	-	2	-	-	-	24
大阪府	-	-	-	-	1	209	-	56	-	-	-	-	-	5	-	-	-	65
兵庫県	-	-	-	-	-	181	-	20	-	-	-	-	-	3	-	-	-	47
奈良県	-	-	-	-	-	25	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
和歌山県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
鳥取県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	91	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	4	52	-	3	-	-	-	-	-	8	-	-	-	37
山口県	-	-	-	-	-	29	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	-	33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
高知県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	1	259	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	30
佐賀県	-	-	-	-	2	170	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	1	60	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大分県	-	-	-	-	-	34	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	-	39	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13
鹿児島県	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
沖縄県	-	-	-	-	-	40	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年49週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	46	-	-	-	107	2	134	2	86	8	846	-	3	1	105	-	-
北海道	-	1	-	-	-	35	-	3	-	4	-	12	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	3	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	32	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	18	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	1	28	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	7	-	37	-	1	-	4	-	-
東京都	-	35	-	-	-	3	-	10	-	11	4	348	-	-	1	44	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	13	-	2	-	60	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	2	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	24	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	4	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	9	1	7	-	45	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	1	8	-	-	-	10	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	11	-	-	1	82	-	1	-	9	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	61	-	5	-	5	1	17	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	-	10	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年49週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	8	-	-	-	-	13	274	1	49	-	36	1	8	-	-	8	529
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	20
青森県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
福島県	-	-	-	-	-	-	2	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	10
千葉県	-	2	-	-	-	-	3	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	1	16	-	-	-	-	-	-	1	53
神奈川県	-	1	-	-	-	-	1	5	-	10	-	-	-	-	-	-	-	21
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
愛知県	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	1	1	-	-	2	111
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	3	-	-	-	-	-	29
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	11	-	1	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
広島県	-	-	-	-	-	-	2	14	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	4
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
高知県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	14
大分県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	3	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	42	-	-	-	6	-	-	-	-	-	8
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年49週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	100	1	40	-	-	-	-	-	1	-	-	-	76	-	15	-	159
北海道	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
福島県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5
茨城県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
栃木県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8
千葉県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	6	1	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	26	-	1	-	17
神奈川県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	1
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
愛知県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
大阪府	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	11
兵庫県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
広島県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
高知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
鹿児島県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年49週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年49週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2809	0.60	381	0.13	4557	1.50	37757	12.42	6536	2.15	1058	0.35	715	0.24	2244	0.74	18	0.01
北海道	43	0.19	27	0.19	434	2.99	459	3.17	286	1.97	50	0.34	154	1.06	89	0.61	2	0.01
青森県	-	-	-	-	76	1.81	213	5.07	103	2.45	24	0.57	11	0.26	41	0.98	-	-
岩手県	5	0.08	2	0.05	29	0.76	411	10.82	100	2.63	4	0.11	17	0.45	12	0.32	-	-
宮城県	20	0.21	13	0.22	107	1.81	811	13.75	169	2.86	47	0.80	25	0.42	52	0.88	1	0.02
秋田県	14	0.25	77	2.20	58	1.66	389	11.11	90	2.57	3	0.09	1	0.03	19	0.54	-	-
山形県	25	0.52	6	0.20	80	2.67	467	15.57	54	1.80	27	0.90	9	0.30	32	1.07	1	0.03
福島県	11	0.14	-	-	52	1.08	430	8.96	107	2.23	20	0.42	21	0.44	40	0.83	2	0.04
茨城県	10	0.09	1	0.01	32	0.43	526	7.01	135	1.80	46	0.61	12	0.16	20	0.27	-	-
栃木県	4	0.06	7	0.15	64	1.39	728	15.83	114	2.48	29	0.63	2	0.04	36	0.78	-	-
群馬県	27	0.27	4	0.06	85	1.37	633	10.21	90	1.45	13	0.21	14	0.23	40	0.65	-	-
埼玉県	376	1.46	11	0.07	274	1.71	2954	18.46	327	2.04	46	0.29	29	0.18	137	0.86	1	0.01
千葉県	137	0.68	7	0.05	337	2.59	2246	17.28	206	1.58	18	0.14	30	0.23	123	0.95	1	0.01
東京都	52	0.29	19	0.13	101	0.71	1675	11.80	210	1.48	12	0.08	14	0.10	83	0.58	-	-
神奈川県	70	0.21	24	0.12	260	1.27	3178	15.50	317	1.55	32	0.16	17	0.08	193	0.94	1	0.00
新潟県	22	0.22	7	0.12	134	2.23	567	9.45	158	2.63	47	0.78	24	0.40	47	0.78	-	-
富山県	7	0.15	-	-	88	3.03	560	19.31	72	2.48	28	0.97	10	0.34	30	1.03	-	-
石川県	13	0.27	8	0.28	58	2.00	338	11.66	94	3.24	8	0.28	1	0.03	16	0.55	-	-
福井県	10	0.31	10	0.45	57	2.59	187	8.50	104	4.73	6	0.27	4	0.18	18	0.82	-	-
山梨県	9	0.22	-	-	29	1.16	295	11.80	15	0.60	3	0.12	3	0.12	10	0.40	-	-
長野県	34	0.40	1	0.02	147	2.77	770	14.53	162	3.06	20	0.38	23	0.43	46	0.87	-	-
岐阜県	7	0.10	2	0.04	28	0.60	265	5.64	127	2.70	76	1.62	17	0.36	16	0.34	1	0.02
静岡県	37	0.27	2	0.02	102	1.19	1972	22.93	292	3.40	16	0.19	22	0.26	61	0.71	-	-
愛知県	56	0.29	4	0.02	209	1.15	2508	13.78	332	1.82	103	0.57	45	0.25	113	0.62	-	-
三重県	20	0.27	2	0.04	95	2.11	715	15.89	102	2.27	23	0.51	10	0.22	45	1.00	-	-
滋賀県	27	0.51	4	0.13	20	0.63	446	13.94	59	1.84	16	0.50	14	0.44	14	0.44	2	0.06
京都府	72	0.57	1	0.01	57	0.75	909	11.96	122	1.61	17	0.22	6	0.08	50	0.66	-	-
大阪府	386	1.27	20	0.10	177	0.91	1978	10.14	298	1.53	34	0.17	24	0.12	123	0.63	-	-
兵庫県	100	0.51	6	0.05	116	0.91	1974	15.42	239	1.87	42	0.33	37	0.29	79	0.62	1	0.01
奈良県	14	0.25	-	-	80	2.29	557	15.91	72	2.06	29	0.83	2	0.06	21	0.60	-	-
和歌山県	3	0.06	1	0.03	24	0.77	445	14.35	104	3.35	-	-	3	0.10	18	0.58	-	-
鳥取県	29	1.00	-	-	44	2.32	334	17.58	32	1.68	5	0.26	18	0.95	21	1.11	-	-
島根県	5	0.13	1	0.04	8	0.35	156	6.78	64	2.78	2	0.09	3	0.13	11	0.48	-	-
岡山県	8	0.10	-	-	27	0.50	571	10.57	69	1.28	5	0.09	11	0.20	29	0.54	-	-
広島県	218	1.83	16	0.21	77	1.03	1228	16.37	134	1.79	51	0.68	1	0.01	60	0.80	-	-
山口県	72	1.03	1	0.02	119	2.43	805	16.43	141	2.88	-	-	16	0.33	61	1.24	2	0.04
徳島県	-	-	2	0.09	66	2.87	231	10.04	43	1.87	12	0.52	6	0.26	16	0.70	-	-
香川県	5	0.10	-	-	36	1.13	308	9.63	49	1.53	5	0.16	1	0.03	20	0.63	-	-
愛媛県	2	0.03	9	0.23	80	2.05	538	13.79	93	2.38	37	0.95	6	0.15	33	0.85	-	-
高知県	1	0.02	-	-	42	1.35	287	9.26	91	2.94	9	0.29	10	0.32	21	0.68	1	0.03
福岡県	507	2.56	25	0.21	252	2.10	1337	11.14	347	2.89	13	0.11	13	0.11	145	1.21	1	0.01
佐賀県	54	1.38	31	1.35	72	3.13	146	6.35	82	3.57	11	0.48	4	0.17	18	0.78	-	-
長崎県	79	1.13	2	0.05	59	1.34	246	5.59	116	2.64	8	0.18	1	0.02	20	0.45	-	-
熊本県	21	0.26	13	0.27	97	1.98	592	12.08	110	2.24	6	0.12	3	0.06	39	0.80	-	-
大分県	37	0.64	1	0.03	49	1.36	415	11.53	121	3.36	6	0.17	-	-	39	1.08	-	-
宮崎県	55	0.92	4	0.11	87	2.35	470	12.70	136	3.68	14	0.38	5	0.14	47	1.27	-	-
鹿児島県	46	0.47	10	0.17	31	0.52	469	7.82	187	3.12	8	0.13	14	0.23	33	0.55	1	0.02
沖縄県	59	1.02	-	-	1	0.03	18	0.53	61	1.79	27	0.79	2	0.06	7	0.21	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年49週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	18	0.01	163	0.05	116	0.04	2621	0.86	33	0.05	600	0.94	1	0.00	13	0.03	15	0.03
北海道	-	-	9	0.06	-	-	214	1.48	-	-	19	0.66	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	1	0.02	20	0.48	41	0.98	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	6	0.16	2	0.05	144	3.79	2	0.17	6	0.50	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	-	-	-	-	108	1.83	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	2	0.06	156	4.46	-	-	10	1.43	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	39	1.30	-	-	3	0.38	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	0.04	24	0.50	72	1.50	1	0.08	8	0.67	-	-	1	0.14	-	-
茨城県	2	0.03	1	0.01	3	0.04	23	0.31	1	0.06	33	2.06	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	-	-	53	1.15	-	-	25	2.08	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	-	-	69	1.11	1	0.07	47	3.36	-	-	-	-	2	0.20
埼玉県	-	-	9	0.06	14	0.09	111	0.69	-	-	18	0.50	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	1	0.01	2	0.02	7	0.05	65	0.50	2	0.06	40	1.18	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	8	0.06	3	0.02	48	0.34	-	-	13	0.93	-	-	1	0.04	1	0.04
神奈川県	1	0.00	2	0.01	2	0.01	94	0.46	2	0.05	46	1.10	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	79	1.32	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	1	0.03	-	-	27	0.93	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	9	0.31	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	1	0.05	-	-	13	0.59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	13	0.52	-	-	-	-	-	-	1	0.10	1	0.10
長野県	-	-	-	-	-	-	21	0.40	1	0.10	16	1.60	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	7	0.15	-	-	44	0.94	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	75	0.87	-	-	11	0.55	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	5	0.03	-	-	80	0.44	3	0.09	15	0.43	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	2	0.04	-	-	24	0.53	-	-	-	-	-	-	1	0.11	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-	25	0.78	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.03	2	0.03	-	-	40	0.53	-	-	8	0.44	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	33	0.17	1	0.01	73	0.37	7	0.13	39	0.75	-	-	1	0.07	-	-
兵庫県	-	-	5	0.04	-	-	145	1.13	-	-	22	0.61	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	1	0.03	43	1.23	-	-	7	0.78	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	-	-	1	0.03	13	0.42	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	63	3.32	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	1	0.04	-	-	16	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	2	0.04	-	-	45	0.83	1	0.08	6	0.50	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.04	2	0.03	-	-	62	0.83	3	0.15	21	1.05	-	-	2	0.10	1	0.05
山口県	-	-	2	0.04	-	-	36	0.73	1	0.11	13	1.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	4	0.17	-	-	20	0.87	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	-	-
香川県	-	-	5	0.16	5	0.16	6	0.19	-	-	3	1.00	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	-	-	8	0.21	1	0.03	19	0.49	-	-	15	2.14	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	6	0.19	1	0.03	40	1.29	-	-	11	3.67	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	3	0.03	11	0.09	-	-	78	0.65	2	0.08	46	1.77	-	-	1	0.07	1	0.07
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	5	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	91	2.07	6	0.75	25	3.13	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	5	0.10	-	-	9	0.18	-	-	6	0.67	-	-	1	0.07	-	-
大分県	1	0.03	5	0.14	-	-	50	1.39	-	-	16	3.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	5	0.14	17	0.46	50	1.35	-	-	11	2.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	0.02	12	0.20	59	0.98	-	-	8	1.33	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	11	0.32	-	-	5	0.50	-	-	1	0.14	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年49週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	131	0.28	7	0.01	3	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	18	3.00	-	-	-	-
岩手県	22	1.10	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	1	0.08	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	5	0.50	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.09	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	4	0.31	-	-
東京都	5	0.20	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	10	0.83	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	7	0.70	1	0.10	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	4	0.40	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	2	0.13	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	5	0.45	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	7	1.17	-	-	1	0.17
高知県	2	0.25	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	3	0.25	-	-	-	-
熊本県	-	-	1	0.07	-	-
大分県	3	0.27	-	-	-	-
宮崎県	3	0.43	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第49号 平成14年12月20日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。